

新緑の美しい季節となった。庭先では次々と草花が芽をだし、花を咲かせます。自然のいのちの営みの確かさに感動もし、癒され、励まされます。このありがたき自然の恵みに感謝です。

さてあの震災から一年以上もたった今、未だ原発の方向性が見えてこないのは悲しい現実だと思われます。これだけ多くの禍根を残しているのもかわらず、何を迷っているのでしょうか？つまるどころ利便を採るか、命を採るか以外ないのではないのでしょうか？その結論こそが次への一歩となり、国民が思いを一つにしていく大きな力になっていくのではないかと思うのです。

為政者たる者、目先の利害だけでなく、「国民の真の幸せ」一点に絞りよくよく考えれば、自ずと結論は出せるものと確信しているのです。結論があって、民意をというのは無責任で混乱を招くだけだと思うのです。

## この頃思い出す

二つの引き継ぎ

西町南

し・し

梅花香る最中、大改修を終えた本堂において、春季永代経が厳かに執り行われ、心静かに念仏の時を過ごさせていただきました。

そんな折、二つのことが脳裏をかすめました。

一つは、母から寺行事に関する仕事を任された頃の事です。当時は心の準備もなく、寺参りは年寄りの仕事と、何となくお付き合ひ気分でありましたが、自分の身の回りに起る仏事との関わりや、寺の行事への参加回数を重ねるうちに、その身を置いていく自分に違和感がなくなってきた事です。

二つめは、一昨年から計画された本堂の平成の大改修の事です。

当山は創建以来、幾世代もの先祖がそれぞれの思いを持って、寺を守り続けて来られました。今回、皆様の「寄進により、本堂はじめ客殿唐破風や山門などが新築改修され、見違えるほど立派になりました。

この事業を中心な支えて来られた役員の方々に感謝するとともに、我々世代で一つの大きな役目が果たせたことに安堵いたしました事です。

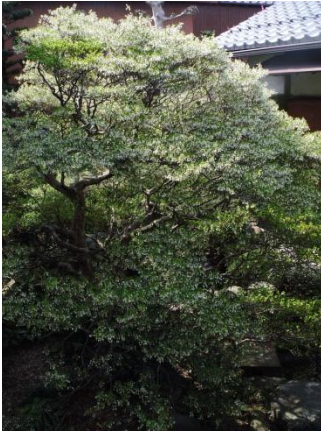
また今後、聞法道場としての本来の役目を果たせるよう、私たち世代から次世代へ引き継いでいくことができたならば、より一層意味のある改修として、歴史に残していく事とします。

今回のお参りは、そんな思い入れを持つ二つの出来事、より良い一日でありました。

来年は宗祖親鸞聖人七百五十回忌御遠忌をお勤めさせていただきます年となりませす。

(関連記事裏面)

光受寺のもう一つの自慢？



中庭のほぼ半分の面積を占領し、樹齢300年を超えるとも思われる満天星つつじ。

このつつじご門徒の方にも意外に知られていないのです。



その理由は光受寺の行事のある季節には、花の時季でもないし、紅葉の時季でもないからです。今年の紅葉にはぜひお訪ね下さい。



山アジサイは地味で、小さな花を咲かせます。約四十種類以上あると、坊守が申しあげます。是非御来寺ください。

アジサイの自慢

光受寺には季節になると山アジサイが多く咲きます。



こんな種類があります。

お茶花だけあって、風情ある名前がついているようです。(すべてが山アジサイではありません)

- |        |          |
|--------|----------|
| 銀河の花火  | 山田の花     |
| 剣の舞    | 海峡       |
| 天使のエクボ | ピクシー桂の舞姫 |
| 七変化    | 姫アジサイ    |
| 小次郎    | コメット     |
| 伊豆の花   | エゾアジサイ   |
| 五月雨    | フェアリーアイ  |
| 藍姫     | アツミサツキヒメ |
| テマリテマリ | 等々です。    |



花の大きさが、葉の大きさと比べると、ずいぶん小さいです。

もちろん葉も小さいのです。

宗祖親鸞聖人 750 回忌御遠忌

日などについては未定ですが、今のところ来年5月を予定しています。

稚児も出す予定ですが、検討中。役員会等で決定次第ご連絡いたします。

いずれも今月には決定する予定です。

一大行事となりますので門信徒全員のご力をいただくこととなりますので、その節にはよろしくお願いいたします。